

アナウンス講座 カリキュラム例 【基礎編】

回数	テーマ	内 容
1	発声練習の基礎知識	言葉はその人の人柄を明確に表すと言われます。美しい言葉を喋る人は、その人の外見のみならず内面の美しさも印象付けます。美しい言葉遣いは、正しい発声を学ぶことから始まります。美しく豊かな声を身につけること、これが発声練習の狙いです。講座では、一人一人の発声の状態をチェックし、スタジオで実際に録音して、自分がどのような発声をしているのかを確認し指導します。
2	発声の基礎は母音を正しく発音すること	言葉は3歳ぐらいまでの間に、主に母親との間のコミュニケーションによって大きく左右されると言われています。母親が子供にどれだけ話し掛けを行っているか、まだ言葉が理解できない幼児でも、母親の語り掛けによって言葉に対するセンサーを磨いているのです。 発声の基礎は母音から始まります。ア・イ・ウ・エ・オの五母音が正しく発音できなければ、美しい言葉を話すことはできません。ここでは母音の発声の基礎を学びます。
3	滑舌法の基礎と早口ことば	アナウンサーやパーソナリティのように、言葉を滑らかに喋れたらどんなに素晴らしいことでしょうか。自分にはとてもあんな喋りはできないと思われている方もいらっしゃると思います。でもご安心ください。練習を積めば誰でも上達が可能です。発声の基礎を覚えたら、舌と唇の運動機能の向上を図るための、滑舌と早口ことばの練習です。ここでもスタジオを使い、上達具合を一人一人チェックします。
4	鼻濁音と母音の無声化	発声練習では鼻濁音の発音にかなりの重点をおいて指導を行います。これはなぜでしょうか。正しい鼻濁音の発音が美しい言葉遣いに欠かせないからです。最近は濁音を多用する傾向にあるようです。濁音と鼻濁音の違いを聞き分け、正しい鼻濁音の発音ができること、これが美しい日本語を喋るための基本です。講座では美しい鼻濁音の発声を徹底的にチェックします。同様に、美しい発声の基礎となる母音の無声化についても学びます。
5	発声基礎の仕上げ	これまでの講習で学んだ基礎発声の仕上げとして、様々な言葉の発声法を学びます。撥音や促音、長音といった、普段何気なく行っている発音が正しく行われているかどうか、例文を使って一人一人チェックします。また、早口ことばも仕上げの練習を行います。基礎編の最後に、スタジオで収録を行い、自分の仕上げ具合をチェックします。
6	スタジオワーク	基礎講座の仕上げとして、スタジオで一人一人の講座の成果をCDに収録します。課題の文章の他、受講生の気に入っている文章をそれぞれ用意してもらい、ナレーション、朗読作品として仕上げます。

アナウンス講座 カリキュラム例 【応用編】

回数	テーマ	内 容
1	読むことの基本	文章を声に出して読むことは意外と気持ちのいいものです。最近では日本語ブームの再燃で、本屋さんの店頭には様々な日本語の本が並べられています。誰もが文章を声に出して読むことで、日本語の魅力に気づいたのかもしれませんが。読むとはどういうことなのか、伝えるとはどういうことなのか、応用編の1として、読み、伝えることの魅力を再認識します。ステップアップ受講者には、より高度な内容の朗読テキストに挑戦してもらいます。
2	ニュースを伝えるテクニック	日々、世の中の出来事を伝えるニュースは「早く、正しく、簡潔に」が重要ポイントとなります。このどれ一つを欠いても、ニュースとして成り立ちません。ニュースを伝え続ける報道記者たちは、この3つのポイントを常に守って原稿を書いています。では、読み手はどう伝えるべきなのでしょう。アナウンサーの表現技術は、ニュースに始まりニュースに終るといわれています。読む文章のもっともオーソドックスな形式であるニュースを読むことで、その正しい伝え方を学びます。ステップアップ受講者には、テレビのワイドショーでおなじみの「新聞の拾い読み」に挑戦してもらいます。日々、何気なく読んでいる新聞記事を自分で十分に理解し、それを簡潔に伝えるのは簡単なようで意外と難しいものです。分かりやすく人に伝える技術を学びます。
3	朗読の実践	古今東西の作家の名作を声に出して読む、アナウンサーやパーソナリティを目指すものにとって、これほど魅力的で読むことの醍醐味を体験できるものはありません。自分の好きな作家の文章を、朗読技術や感情表現を駆使していかにか伝えるか、実際に音声表現をすることによって、あなたは別の自分の存在に気づくかもしれません。同じ文章でも、読み手によってその表現技術はさまざまに変化しますので、スタジオ収録をしながら、一人一人の個性にあった指導を行います。ステップアップ受講者には、本格的な朗読に挑戦してもらいます。同一のテキストで、それぞれの個性がどう出せるか、限界に挑戦してみましよう。
4	さまざまな表現法 (CM原稿から)	昭和26年、民間放送の開局とともにコマーシャルが誕生しました。発足当初は録音機材がなかったため、生コマーシャルが中心でした。出演しているドラマの主人公が、番組の最後に生CMを読むといったケースもありました。今では、テレビやラジオを通じてさまざまな商品が最新技術を駆使して紹介されています。そうしたコマーシャルに重要なのがCMナレーションです。ここでは、実際のコマーシャル原稿を使って、さまざまな表現方法を学びます。ステップアップ受講者は、天気予報の伝え方を勉強します。天気予報は、ニュースと並ぶ日常の生活情報として今や欠かすことの出来ないものとなっています。分かり易い天気予報の伝え方を実践します。
5	フリートークの ポイント	おしゃべりとフリートークの違いは何でしょうか。日常会話のおしゃべりでは、以心伝心ということもあり、その内容は自由奔放で特にルールはありません。ところが、フリートークにはある一定のルールがあります。フリートークのポイントは起承転結と、伝えようとする目的意識です。ここでは、そのルールを学び、フリートークの達人を目指します。ステップアップ受講者には、リポーターの「伝える技術」を学んでもらいます。新聞の拾い読みから一歩進んで、新聞記事を参考にフリートークでニュースのポイントを分かりやすく伝えられるように挑戦してみましよう。
6	総括	まとめ